

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 24 : ^{とおかまちし}新潟県十日町市 (人口: 56,148人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線・越後湯沢駅 ほくほく線十日町駅下車 東京から約2時間

(2) 事業実施の目的等

・多くの若者から十日町市を訪れ、農作業等の就業体験、地方での田舎暮らしを通して、自然と共生する暮らしのあり方をはじめ、当市の魅力に触れ、それを広く発信していただきたい。
・当市での暮らしの魅力を知り、当市を選んで住み継ぐことで、新たな地域の担い手として市の活性化に若い力をお借りしたい。

(3) 体験の内容

・「地域づくり」×「農業」、「古民家再生」、「古民家カフェのお手伝い」、「移動販売のお手伝い」
・市内中山間地域の集落存続・機能維持をサポートする地域おこし協力隊の支援活動に携わりながら、「地方再生における外部人材の役割」や集落営農で農業収入を増やし、生産基盤である農地を保全する仕組みづくり等を、住民とともに汗を流し、ともに喜び、ともに笑いながら、学び、体験することができます。

(4) 受入主体

十日町市企画政策課移住定住推進係

(5) 受入期間

7月上旬～ 3月27日(月)
約270日間

(6) 応募上の注意

費用負担	現地までの交通費：個人負担(東京から約12,000円) 宿泊費：自己負担なし(*冬期間、暖房代が必要となる場合があります) 食事代：自炊(原則、自己負担)
要件	・チャレンジ精神のある方 ・社会(地域)貢献したいと考えている方 ・自然が身近にある生活をしたい方 ・自分にあった田舎暮らしを体験したい方 ・十日町市地域おこし協力隊への応募を検討している方
応募締切り	平成29年2月末まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者までFAX又はメールにてご連絡ください(受入定員に達し次第、募集を打ち切ります)。
宿泊施設	受入集落・団体で用意した住居(空き家)、地域集会施設及びレンタルハウス
食事形態	原則、自炊 住民との交流を通じて、食事に招待いただけることもあるかもしれません。
その他	・移住定住の多様な窓口として、新潟県が実施する事業を活用して、インターン研修生の受入を行っています(研修期間は、原則1か月となります)。 ・作業ができる(汚れてもいい)服装をご準備ください。研修に必要な備品、消耗品等は当方で準備します。

(7) 地域担当者から一言

集落住民との交流・触れ合いから、人とつながることの楽しさ、地方ならではの「助け合い」「お互い様」の精神を体感し、自己の存在意義や田舎ならではの居心地の良さを見つけてみませんか。

(8) お問合せ先

自治体名 新潟県 十日町市	担当部署 総務部 企画政策課 移住定住推進係
(ふりがな) こばやし ひでゆき 担当者氏名 小林 秀幸	TEL : 0 2 5 - 7 5 5 - 5 1 3 7 (直通) FAX : 0 2 5 - 7 5 2 - 4 6 3 5
E-mail : t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp	
URL : http://www.city.tokamachi.lg.jp/	
応募宛先 〒 9 4 8 - 8 5 0 1 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地	